

いわて復興だより



平成 23 年 3 月 11 日に東日本大震災津波が発生しました。発災以来、国内外から多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

がんばろう！岩手 つなごろう！岩手 第 169 号 令和 3 年 1 月号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

陸前高田 発酵パーク CAMOCY (カモシー) 開業

陸前高田市

RIKUZENTAKATA

令和 2 年 12 月 17 日 (木)、陸前高田市気仙町今泉地区で「陸前高田発酵パーク CAMOCY」が開業しました。同日に行われたオープニングセレモニーには、入店事業者をはじめ関係者ら約 30 名が参加しました。CAMOCY 社長の田村氏は「震災から 10 年を前に、ソーシャルビジネスの拠点ができ、今泉地区から幸せを届けたい」と述べました。

この施設は、陸前高田市のまちづ

くり会社が、東日本大震災津波で甚大な被害を受けた同地区で整備を進めていたもので、約 1,420 m²の敷地に蔵をイメージして造られました。

「CAMOCY (カモシー)」という名称は、同地区が江戸の時代から醸造業の盛んな場所であったことや、麴を発酵させて酒や醤油などを造ることを「^{かも}醸す」と表現することに由来しています。地元のスギヤマツを使用した施設内には、発酵食品を使

った料理を提供する食堂やパン店、クラフトビール醸造所など発酵をテーマとする 8 店舗が入居しています。この施設の開業により「発酵」の文化を盛り上げ、新たなにぎわいが創出されることが期待されます。

この施設の本格オープンは今和 3 年 3 月中を予定しています。

■問い合わせ：

岩手県復興局まちづくり・産業再生課
☎ 019-629-6925



オープニングセレモニーでのテープカットの様子



施設内の様子



開業祝いの花で飾られたエントランス

三陸鉄道「初日の出号」今年も発車

大船渡市 釜石市

OFUNATO KAMAISHI

令和 3 年 1 月 1 日 (金)、東日本大震災津波からの復興のシンボルである三陸鉄道が、今年も「初日の出号」を運行しました。

「初日の出号」は、毎年元旦に運行する臨時列車で、車窓から初日の出を眺めることができます。本年は新型コロナウイルス感染症の影響で一部の運行コースは中止となり、盛駅から唐丹駅までの運行となりました。

車両を例年の 1 両から 2 両連結とするなどの新型コロナウイルス感染症対策をした上で運行され、当日は 21 名の乗客が、大船渡市三陸町吉浜

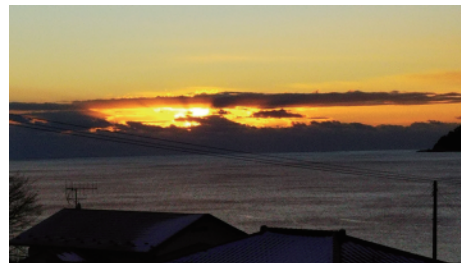
の海岸線沿いで停車すると、おせち弁当やお神酒を楽しみながら初日の出を迎えました。

また、同市の甬嶺 (ほれい) 駅では、地元住民が権現舞を披露し、乗客を出迎えていました。三陸鉄道が

ら、復興の姿を届け、新年に希望を託す機会となりました。

■問い合わせ：

三陸鉄道株式会社 盛駅
☎ 0192-27-1504



車窓から見られた初日の出



甬嶺駅構内で披露された権現舞

岩手県魅力発信 PR 動画「偉人局」第 3 話が公開されました！



令和 2 年 12 月 18 日 (金)、岩手県出身の俳優である村上弘明さんが出演する岩手県魅力発信 PR 動画「偉人局」の第 3 話が公開されました。

「偉人局」は、村上さんが本県出身の偉人に扮して本県の魅力を発信するもので、第 3 話は「後藤新平と岩手の医療」がテーマです。

動画は、「岩手県公式動画チャンネル」からご覧いただけます。

■問い合わせ：

岩手県政策企画部広聴広報課
☎ 019-629-5283



本県全ての宅地造成完了

陸前高田市
RIKUZENTAKATA

陸前高田市で実施していた土地区画整理事業による宅地の造成工事が令和2年12月末に完了し、本県における宅地造成（7,472戸分）が全て完了しました。

中心市街地があった高田地区の造成工事では、平成26年3月末から平成27年9月まで使用された約3kmの巨大ベルトコンベア「希望のかけ橋」で山の切り崩しに伴う大量の土砂を運搬するなど、平均海拔約10mの大規模なかさ上げを実施しました。

なお、これにより岩手・宮城・福島3県で全ての宅地造成（1万8227戸分）が完了しました。

■問い合わせ：陸前高田市復興局市街地整備課
☎ 0192-54-2111



かさ上げ工事の様子



かさ上げ工事後の陸前高田市街地

主要地方道重茂半島線 全線開通

宮古市 山田町
MIYAKO YAMADA

令和2年12月28日（月）、岩手県が沿岸地域の復興と安全・安心な通行の確保が図られるよう、まちづくり連携道路整理事業により整備を進めてきた主要地方道重茂半島線（総延長約36km）のうち里工区（延長2.4km）の残る1.2kmが開通となり、同路線の7工区（大沢～浜川目、川代、石浜、千鶏、里、熊の平～堀内、堀内～津軽石）が全て開通となりました。

これにより、東日本大震災津波の浸水地域を回避し、同規模の津波が発生した場合でも浸水を防ぐ道路構造となっています。また、1車線区間や幅員が狭い区間が解消され、走行性や安全性が向上するとともに、災害時等における確実な緊急輸送機能を確保することができます。



里工区内にある里大橋



重茂半島線 新規開通区間

世界へ、未来へ、「いわて TSUNAMI メモリアル」

東日本大震災津波の事実と教訓を伝える施設「東日本大震災津波伝承館」
（いわて TSUNAMI（つなみ）メモリアル）を紹介します。

令和2年12月12日（土）、東日本大震災津波伝承館は、震災から10年の節目を迎えるにあたり、伝承館と海外の津波博物館をオンラインで繋いで意見交換を行うウェブセミナー「三陸 TSUNAMI ウェビナー」を実施しました。

このウェビナーは、伝承館と海外の津波博物館等との交流・連携を推進することを目的として実施され、ハワイ太平洋津波博物館のマーレーン・ムリー館長、アチェ津波博物館のハフニダール館長らが、伝承館からは熊谷副館長が出席しました。伝承館の館長を務める達増知事の挨拶の後、各館の取組の紹介や、陸前高田市の高田東中学校の生徒を含む各国の子どもたちから寄せられた震

災、津波に関する質問への回答を交えて、意見交換を行いました。

伝承館からは、「今後は、震災を経験していない世代が増えてくる。当時の教訓を伝え続け、次の災害時の行動につなげることが重要」と伝承の大切さを伝えました。

伝承館は、今後も海外の津波博物館と連携し、震災からの復興の取組や教訓等を国内外に発信し、世界の防災力の向上に繋げていきます。

このウェビナーの様子は、2月頃に動画配信サイトで公開する予定です。

■問い合わせ：東日本大震災津波伝承館
☎ 0192-47-4455



達増知事の挨拶の様子



ウェビナーの様子



伝承館の取組を紹介する熊谷副館長

東日本大震災津波の被害を受けた沿岸地域の郷土芸能の復興の姿と支援への感謝をお伝えしていきます。
今回は、山田町の郷土芸能「大浦さんさ踊り」について、野田 権右（のだ けんゆう）さんに伺いました。



大浦さんさ踊り保存会
会長
野田 権右 さん

さんさ踊りは、岩手県内陸部で数多く伝承されていますが、沿岸地区でも伝承されているものがあり、中でも「大浦さんさ踊り」は、県内の沿岸地区最東端で伝承されるさんさ踊りです。

大浦さんさ踊りは大正14年頃に山田町大浦地区に伝承されたと言われ、同地区にある霞露嶽（かろがたけ）神社で9月に行われる例大祭に毎回参加して神輿とともに地区内を回るほか、町内のイベントなどでも披露しています。沿岸らしく踊りの振りが大きく、7分程度の短い演目を繰り返すのが特徴です。また、それぞれの家紋や屋号を刺繍した前掛けを付けた衣裳も、内陸のさんさ踊りと異なる点です。

震災時、道具を保管していた海岸近くの倉庫は津波で被災し、太鼓は潮を被り使えない状態でした。また、各家で保管していた衣裳も家が被災し、衣裳を失う状況でもありました。

震災後は県内外から多くの支援を受け、平成23年8

月には、「盛岡さんさ踊り」で特別に出演させていただき、活動を再開しました。

また、東京都の国立劇場での演舞の披露や靖国神社での奉納をさせていただいたほか、島根県の出雲大社では、岩手県を代表して、大浦大神楽とともに出演させていただきました。

大浦地区は小さな地区ですが、郷土芸能や手踊りなど4つの団体があります。今後は大浦地区に限らず、町内や近隣の市町村の方々にも参加していただき、さんさ踊りを通して地域を元気づけていきたいと思っています。



「大浦さんさ踊り」のメンバー
(写真提供：大浦さんさ踊り保存会)



「大浦さんさ踊り」の演舞
(写真提供：大浦さんさ踊り保存会)

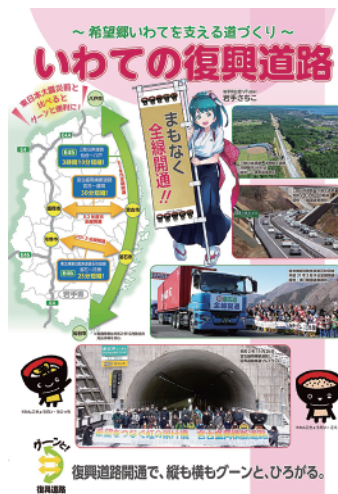
「いわての復興道路リーフレット」 発行のお知らせ

岩手県では、県内の復興道路がまもなく全線開通することに合わせ、「いわての復興道路リーフレット」を発行しました。

復興道路は三陸沿岸の縦貫軸である三陸沿岸道路と、横断軸の東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路の3路線からなり、令和3年内に全線が開通予定です。

このリーフレットは、復興道路の概要や整備効果等を分かりやすく記載しているほか、東日本大震災津波伝承館など県内の主な震災伝承施設を記載した道路網図を掲載しています。

「いわての復興道路リーフレット」は県ホームページで公開しておりますので、ぜひご覧ください。



いわての復興道路リーフレット



■問い合わせ：岩手県県土整備部道路建設課
☎ 019-629-5866

さんりくイベント情報

三陸鉄道「洋風こたつ列車」

レトロ列車の車内では、ハイカラさんアテンダントによるガイドなどが行われ、記念乗車証と大船渡市の銘菓「恋し浜ブッセ」、みかんがプレゼントされます。

- 期日：1/2（土）～2/28（日）までの土日祝日
- 運転区間：三陸鉄道リアス線 宮古駅～盛岡駅
- 時刻：宮古駅 11:05 発～盛岡 13:55 着
- 予約・問い合わせ：三陸鉄道株式会社 宮古駅
☎ 0193-62-7000
(受付 9:00～17:00)

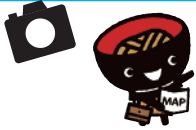
北三陸くじ冬の市 & べっぴん昼市

久慈市
KUJI

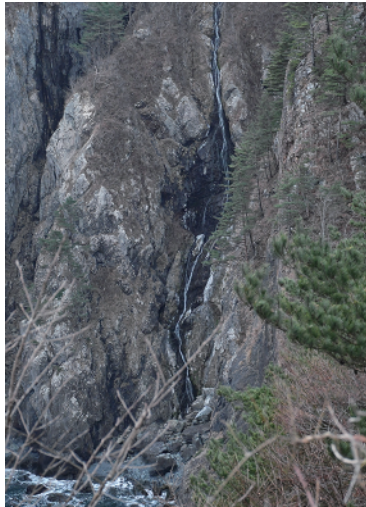
久慈の新鮮な海の幸・山の幸が揃う「北三陸くじ冬の市」と、屋台グルメのテイクアウトが楽しめる「べっぴん昼市」が同時開催されます。

- 期日：2/14（日）
- 場所：久慈市中心市街地
- 問い合わせ：▶「北三陸くじ冬の市」
北三陸くじ冬の市開催実行委員会事務局
(久慈市観光交流課内) ☎ 0194-52-2123
▶「べっぴん昼市」
久慈商工会議所 ☎ 0194-52-1000

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・変更になる場合があります。予め、問い合わせ先にご確認ください。



県内一の落差を誇る「アンモ浦の滝」(普代村)は、落差 150m以上で、断崖から海に直接流れ落ちる珍しい滝とされています。



アンモ浦の滝

普代村黒崎に建つ国民宿舍くろさき荘の裏手から 262 段の階段を降りた先に、北緯 40 度 00 分 00 秒、東端ポイントとされる「アンモ浦展望台」があります。

この展望台からは、高さ 150m~200m の切り立った断崖のダイナミックな景色と断崖から一筋の糸のように流れ落ちる「アンモ浦の滝」を眺めることができます。

“アンモ”とは、アイヌ語で鬼、妖怪、化け物などの怖いものの総称で、怖いものがこの浦(海岸)に住んでいたということが名称の由来とされています。



アンモ浦展望台

周辺一帯は、三陸復興国立公園の黒崎園地として整備され、幕末に外国船を監視した黒崎砲台跡や陸中黒崎灯台などもあり、ガイド付きの散策を楽しむことができます。



■問い合わせ：普代村農林商工課
☎ 0194-35-2115

連載「いわてさんりくびと」では、被災地・三陸の復興に向け、熱い想いをもち、活躍する方々を紹介していきます。

第 115 回は、井上 藍さんを紹介します。

PROFILE

釜石市出身。福島県の短期大学卒業後、岩手県内で就職する。震災を機に釜石市に戻り、被災流木等を使用したものづくりの団体に所属する。

平成 27 年に NRC 株式会社を立ち上げ、レーザークラフト(レーザー加工機を使用して行うものづくり)のオリジナル雑貨等を製作し、販売を行う。

ものづくりへの思いを実現し

中学校の職場体験で滝沢市の漆工芸を見て岩手県の伝統工芸に興味を持った井上さんは、福島県の短期大学で工芸について学びました。卒業後は、岩手県内で事務の仕事をしていましたが、ものづくりの楽しさが忘れられず、震災を機に釜石に戻り被災流木を使用した創作活動を



NRC 株式会社
取締役企画部長
井上 藍さん
(いのうえ あい)



スタートさせました。

「津波で家を流された方から、残った家の基礎や柱などから表札やキーホルダーを作りたいという依頼も多く、そういう方たちの気持ちに応えたいと思い技術を磨いてきました。レーザークラフトは、木だけでなく、いろいろな素材に人の手では難しい細かい加工ができるのが特徴です。」と井上さんは、ものづくりに関わりたいという思いを実現し仕事に励んでいます。

故郷で働く楽しみ

「震災の影響で自分の生まれ育った故郷から人が出て行ってしまったことを寂しく感じています。都会に行かないと仕事がないとか、自分のやりたいことが出来ないと思う若い人たちもいると思いますが、地元に住んでも自分のやりたいことができるという姿を見せられれば良いと思います。」と井上さんは、作品を通して、ものづくりの楽しさを広めていきます。

岩手県の被害状況

令和 2 年 12 月 31 日現在

皆様のご支援、ありがとうございます

令和 2 年 12 月 31 日現在

▶人的被害 死者(直接死): 4,674 人 行方不明者: 1,111 人
死者(関連死): 469 人

▶建物被害(住家のみ、全半壊) 26,079 棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

検索

▶義援金受付状況 約 187 億 5298 万円 (97,783 件)

▶寄付金受付状況 約 201 億 5274 万円 (10,735 件)

▶いわての学び希望基金(※) 受付状況 約 102 億 7475 万円 (25,242 件)

※被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。



いわて震災津波アーカイブ~希望~
約 24 万点の資料を検索・閲覧できます。



[いわて震災津波アーカイブ](#)

検索

いわて復興だより 第 169 号 令和 3 年 1 月 21 日発行
企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎ 019-629-6945
編集・印刷：シナプス